

認定No.	第8号
件名	三條實美揮毫「長興学校」扁額及び飯塚古登頌徳碑(さんじょうさねとみきごうながおきがっこうへんがくおよびいつかことしょうとくひ)
認定年月日	平成28年11月16日
所在地	龍ヶ崎市長沖町1490 旧北文間小学校跡地
所有者等	龍ヶ崎市
解説	<p>いずれも、旧北文間小学校の前身である長興小学校に纏わるものである。</p> <p>長興小学校の校舎は、劣悪な環境で勉強している子どもたちを不憫に思った故・飯塚古登氏(後述)らが奔走して資金を工面し、明治15年(1882年)に現在の旧北文間小学校敷地内に建てられたという経緯があり、「長興学校」の木製扁額は、校舎の完成を祝って当時の太政大臣・三條實美から贈られた書を基に作成されたものと考えられる。</p> <p>飯塚古登氏は、夫の死後に家を支える傍ら、200名を超える近隣の子もたちを自宅に招いて教育を施し、また、26名もの孤児を引き取って育てるなど、私財を投げ打って地域のために尽くした偉人として今なお尊敬を集める人物であり、頌徳碑は古登氏の功績を後世に伝えるべく、北文間地区の有志によって大正5年(1916年)に設置されたものである。</p> <p>※長興学校扁額は展示準備のため、現在は一般公開しておりません。(令和2年度中に展示・公開予定です。)</p>
	 <p>▲「長興学校」の木製扁額</p>
	 <p>▲学校跡地の正門前にある頌徳碑</p>